

2026 年 10 月 15 日

報道機関 各位

国立大学法人東北大学

**「EYE CONTACT -未来の診療所」が
グッドデザイン賞受賞
—2025 年大阪・関西万博展示にて 6 日間で 1 万人が体験—**

このたび、東北大学 COI-NEXT「Vision To Connect」拠点^(注1)が 2025 年大阪・関西万博にて出展した展示「EYE CONTACT -未来の診療所^(注2)」が 2026 年グッドデザイン賞を受賞しました。

「EYE CONTACT -未来の診療所」は、2025 年 8 月 14～19 日、大阪・関西万博の EXPO メッセ WASSE で行われた、文部科学省主催の「わたしとみらい、つながるサイエンス展」にて出展を行い、会期中の 6 日間で 1 万人を超える来場者が体験しました。

なお、2026 年 9 月 26 日から、仙台市科学館で本展示を一部再編集した「EYE CONTACT -未来の診療所-」の展示が行われております。

受賞情報

賞名：グッドデザイン賞

事業主体名： 国立大学法人東北大学

公開 URL： <https://www.g-mark.org/gallery/winners/33809>

審査講評

医療 AI や未来型健診という、ともすれば専門的で難しいテーマを、親しみやすく、楽しみながら理解できる体験へと翻訳した点を評価した。ゲームのようなインターフェースやアバターを介することで、医療や健康について「教えられる」のではなく、来場者自身が興味を持って参加できる距離感がうまくつくられている。眼をテーマとした展示らしく、会場の平面そのものを眼球に見立てた構成もユニークで、難解になりがちな科学展示に軽やかさを与えている。高度な研究や技術をそのまま見せるのではなく、未来の医療と私たちの暮

らしの関係を想像できるところまで噛み砕いて届ける。サイエンスコミュニケーションにおけるデザインの役割を示す、参照すべき事例である。

代表者コメント

東北大学 COI-NEXT「Vision To Connect」拠点の目指す「未来の診療所」では、何か楽しそうというワクワク感で場に興味を持ち、ゲームのようなインターフェースで自身の健康状態に気づき、自ら出来る健康への行動変容が自然と起こるような場所の設計を目指しています。その全体像を理解し、このような評価をいただいたことを大変光栄に思っております。今後もさらにブラッシュアップを進めますが、我々の拠点が関わるイベントや仙台市科学館では再編集した展示が行われております。ぜひ体験いただければ幸いです。

代表：中澤徹

東北大学大学院医学系研究科眼科学分野教授

東北大学 COI-NEXT「Vision To Connect」拠点プロジェクトリーダー

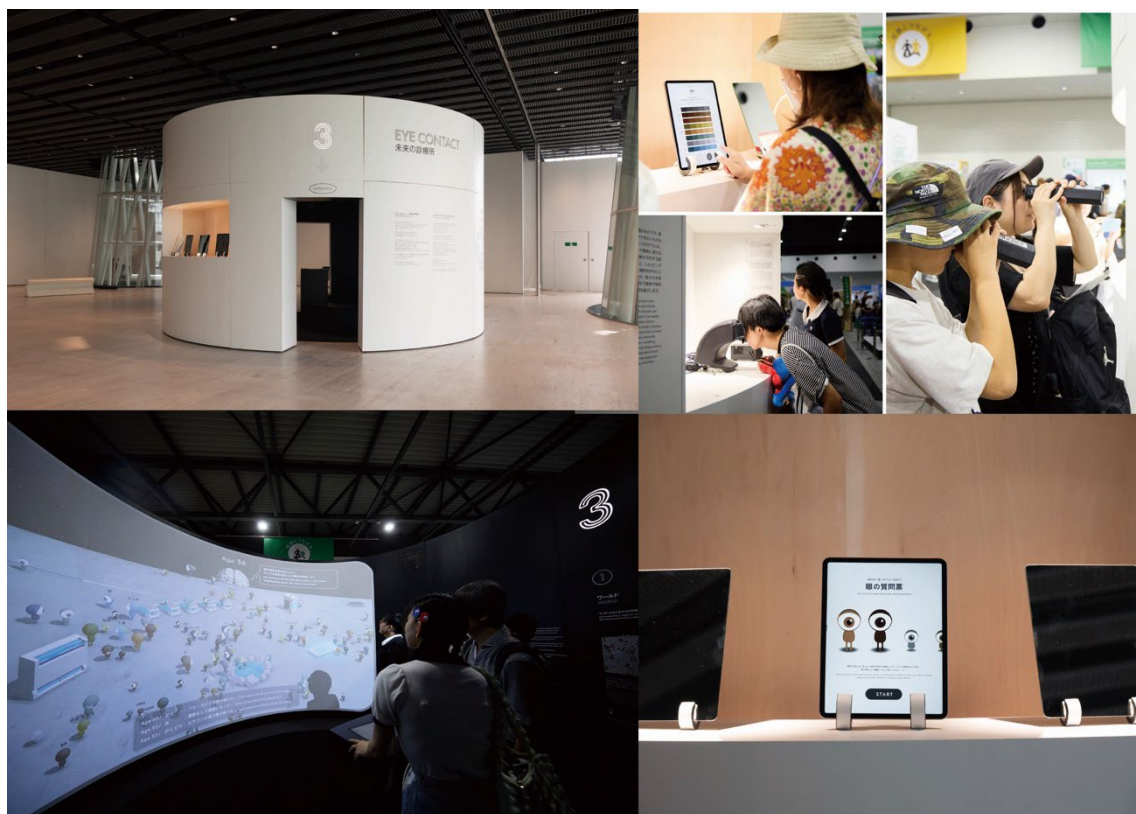


図 1. 大阪・関西万博での展示の様子

せんだいメディアテークで行ったプレ展示の記録映像 URL

<https://youtu.be/0joL0mgG0oY>

【用語説明】

注1. 「Vision to Connect」拠点： JST 共創の場形成支援プログラム（COI-NEXT） 「『みえる』からはじまる、人のつながりと自己実現を支えるエンパワーメント社会共創拠点」の略称。「自立（社会課題）・予防（医療課題）・意識変革（自分課題）」をターゲットとし、誰もが人生のどのステージでも、共に暮らし、働くことで、主体的に暮らせる社会の実現を目指しています。

注2. 本施設では診療行為は行いません。



【問い合わせ先】

東北大学産学連携機構

イノベーション戦略推進センター

学術研究員 山田哲也

TEL: 050-1732-5422

Email: coinext-mieru@tohoku.ac.jp